

春の 2020 スタートダッシュ講座



主催：京大生協学生委員会 新入生サポート事務局

単位取得のキソのキソ

① 単位って何？



単位とは、科目を履修して所定の成績を収めた場合に認定されるものです。進級や卒業に必要な単位数は学部・学科によって定められており、その単位数を満たさないと留年する場合があります。学部・学科によってはCAP制により学期ごとの最大登録単位数が制限されている場合などがあるため、詳しくは「全学共通科目履修の手引き」や学部・学科の「履修要覧」などで確認してください。

② 単位認定と成績評価（GPA）



全学共通科目では、成績評価には以下の3種類があります。

- ・0～100点の点数評価
- ・「A+ / A / B / C / D / F」の6段階評価
- ・「P（合格） / F（不合格）」の2段階評価

基本的には60点以上を取ると単位が認定されます。しかし留学や研究室配属、大学院への進学、就職においては、点数の平均（GPA）や特定科目の点数評価が重視される場合があります。GPAは、「A+ / A / B / C / D / F」の6段階評価をそれぞれGP（4.3/4.0/3.0/2.0/1.0/0.0）に換算したものに、当該科目の単位数を掛けて、その総和を履修総単位数で割った値です。単位認定されればよいというわけではなく、よい成績を収めることが重要です。また、成績評価の発表時期、発表方法は学部によって異なるので、事前に確認しておきましょう。

点数	評価	GP	単位
96～100	A+	4.3	P（合格）
85～95	A	4.0	
75～84	B	3.0	
65～74	C	2.0	
60～64	D	1.0	
0～59	F	0.0	F（不合格）

$$\text{GPA} = \frac{(\text{当該科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}) \text{の総和}}{\text{GPA算入科目の総単位数}}$$

③ 群って何？



全学共通科目は8つの群に分かれています。学部によっては卒業単位として認められない群もあるので、詳細はWeb上の「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報学科目群
健康・スポーツ科目群、少人数教育科目群、統合科学科目群、キャリア形成科目群

④ ただ単位を集めるだけじゃダメなの？



GPAは、学科内でのコース配属や研究室配属に利用されます。奨学金の審査や留学時の提出資料としても利用されます。単位数を満たせば進級・卒業は出来ませんが、思い通りの大学生活はそれだけでは送れません。1回生の成績も当然含まれるので気を抜かないようにしましょう。用途によって、算入される科目とされない科目があるので、事前にある程度調べておくことをお勧めします。

⑤ 単位認定と成績評価



大学における成績評価の方法には、大きく分けて平常点・試験・レポートの3種類があります。たとえば「平常点5割+レポート5割」、「試験のみ」など、それぞれの比重は授業によって異なるので、シラバスなどで必ず確認しておきましょう。

ここからは、それぞれの成績評価の方法について説明していきます。

〈平常点〉

大学では出席が成績評価に加味されることがあります。外国語科目の授業やスポーツ実習などでは比較的その割合が高く、出席することが成績評価において重要になります。出席確認の方法は何通りかありますが、その中でも代表的な4つを紹介します。

①出席登録システム

授業開始前または授業開始後一定時間までに、教室の出入り口付近に設置された出席登録端末に学生証をかざす形式。カードをかざした際にビッと音がしたかを確認しましょう。

③小テスト

授業中に授業内容に関する問題が出題され、それを解いて提出する形式。小テストの点数が成績に加味されることもあります。

②氏名記入

授業中に配布された用紙に学生番号・所属学部・学科・回生・氏名などを記入して提出するか、もしくは回ってきた名簿にチェックをする形式です。

④点呼

授業開始前もしくは授業終了時に教員によって受講者の名前が読み上げられ、それに返事をする形式。教員に聞こえるよう、大きくはっきりとした声で返事をしましょう。

〈試験〉

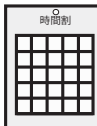
学期末に試験期間が設けられ、多くの試験はその期間内に行われます。また学期の途中で中間試験が行われることもあります。試験を受ける際には学生証が必要となり、忘れた場合は国際高等教育院棟の窓口で仮受験票を発行する必要があるので必ず持参しましょう。

試験には基本的に授業資料の持ち込みは許可されていませんが、中には持ち込み可の試験もあります。教科書のみ可というものから、授業中配布したレジュメや辞書も許可している科目まであります。

〈レポート〉

高校生の頃にはあまりなじみが無かったレポートですが、大学では一部の授業でレポートが課されます。出題された問題を解くものや与えられたテーマについて小論文を書くもの、実験から得られたデータをまとめるものなどがあります。提出時間については、次の授業が締切のレポートのほかに、授業時間内に書いてそのまま提出するもの（小レポート）や、授業時間外に提出するもの（中間、期末レポートなど）もあります。

どうする？ 第二外国語と ILAS セミナーの予備登録



～第二外国語編～

I) 今こそ第二外国語！

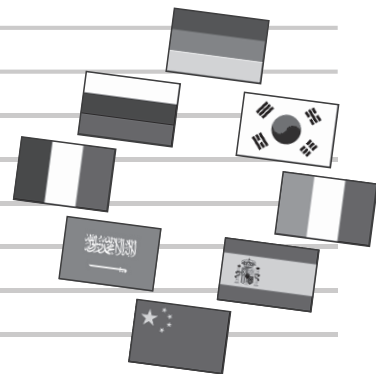
グローバル化が進む中で、日本では盛んに英語力強化が叫ばれています。しかし、世界各国の文化が入り乱れる今、英語学習のみで十分なのでしょうか？ 異文化を理解し、世界で通用する人材となるためにも第二外国語は重要な役割を担うのです。ぜひ、第二外国語を通じて新たな知見を手に入れてください！



II) 選べる 8 言語！

第二外国語は、正式には「初修外国語」と言い、
**中国語・スペイン語・ドイツ語・フランス語・
ロシア語・アラビア語・イタリア語・朝鮮語**

の 8 つの中から選択できます。ただし、学部・学科や教員免許取得の条件などで言語が指定されている場合がありますので注意してくださいね。



III) 先輩！どうしてその言語にしたんですか？

- ・心理学や哲学を学ぶ上でドイツ語が役に立つと思ったから。
- ・フランス語のちょっとした会話表現を知っていたから。
- ・中国人の友達がいいたから。
- ・韓国ドラマを親が見ていて、分かりやすいかなと思ったから。
- ・アラビア語は大学以外で学ぶ場がなさそうから。

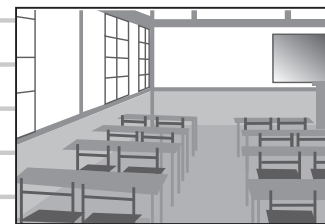
他にも実際に第二外国語を履修した先輩の声を『「やったね！」袋』に同封されている「らいふすてーじ新入生歓迎特別号」内で紹介していますので、併せて参考にしてください。



～ ILAS セミナー編～

I) 日本最高峰の教員が贈る、少人数授業！

ILAS セミナーとは、全学共通科目の少人数授業のことを指します。1 授業 10 人前後で行われることが多く、各分野に特化した教員による講義は必見です！ 授業数が非常に豊富で、それぞれ該当分野を探究している教員が担当してくださるので、きっと自分の興味に合う授業を見つけることができますはず。



II) 2 種類の授業形式！

ILAS セミナーには、毎週 1 回行われるものと「集中講義」と呼ばれるものがあります。集中講義は不定期開催であったり、夏休みなどのまとまった休暇期間に行われたりするもので、場合によっては宿泊を伴います。ここで、実際に ILAS セミナーを履修した先輩の声を聞いてみましょう。

昨年度の前期授業数
週 1 回: 225 個
集中講義: 46 個



週 1 回

僕は前々から興味があったフランスについての講義をとったんだ。色々な先生の授業を受けたりフランス映画を見たりしたおかげで、前期だけで相当深く理解することができたよ。



集中講義

私は地域在住高齢者に関する医学実習をしてきたよ。大自然に囲まれた高知県土佐市で毎日、他大生や先生方と交流したり地元の方と談笑したりと非常に充実した 5 泊 6 日だった！

ILAS セミナーの抽選は 1 回生優先で行われ、また後期に開講される ILAS セミナーは数が少ないため、1 回生前期が ILAS セミナーを受講する最大のチャンスです。少人数授業ということに不安を感じるかもしれませんが、折角の機会なので受講してみたいかがでしょうか。

～予備登録の手続きについて～

第二外国語も ILAS セミナーも、国際高等教育院発行の冊子「**入学案内ー授業開始までの手続と行事ー**」を参考にして予備登録をしてください。ただし、ILAS セミナーは抽選申し込みで必ずしも第 1 希望の授業をとれるわけではないので、何かしら受講したい場合は第 5 希望まで申し込むことをお勧めします。それでも応募した全ての授業に落選した場合には、抽選後まだ定員に余裕がある授業に追加登録することができます。

**第二外国語 & ILAS セミナー
登録締切
3月24日(火) 17時**

**メールにて
ILAS セミナー抽選発表
4月2日(木)**

※変更の可能性があります。KULASIS(入学予定者サイト)及び国際高等教育院HPなどで確認してください。

登録締切に注意して第二外国語、ILAS セミナーの予備登録を確実に完了してください。新入生の皆さんが充実したキャンパスライフを送られることを心から願っています！



はじめての大学授業

今、新入生のみなさんはこれから始まる大学生活への期待に胸をふくらませていることでしょう。しかし、大学での授業は高校までとは大きく異なるため、最初は戸惑う人も多いと思います。ここでは新入生のみなさんに、これから始まる大学での授業について解説します。

高校までの授業とはここが違う！

高校までは

大学からは

- 指導要領に沿って、あらかじめ決まった時間割通りに授業を受けていた。



大学では時間割は自分で決める！ だからこそ履修登録で失敗をしないように。

- 授業時間は長くても 60 分くらいだった。



授業は 1 コマ 90 分。科目によっては 2 コマ以上連続なんてことも……。

- 自分のクラスの教室で授業を受けることが多かった。



科目によって教室も先生も変わる。最初は教室を覚えるのにも一苦労……。

- 授業は同じクラスの人と 40 人前後で受けていた。



場合によっては知らない人に囲まれながら 200 人を超える人数で授業を受けることもある。

- 授業方法は先生が黒板に書いた内容を見ながらノートをとるものだった。



ノートをとるだけじゃない！ CALL と呼ばれる授業のようにパソコンを用いて行われる科目もある。

- 授業ごとに出席確認が行われていた。



出席をとらない授業もある。小レポートが出席確認として使われることも。

- 台風などの事態が起これなければ授業は無くならなかった。



京大の教員はとても忙しい！ 教員の都合で授業が休講になることもしばしば。

- 指定の教科書や教材があり、授業資料も先生から直接もらった。



教科書等が必要な場合は自分で揃えるのが当たり前。また、科目によっては授業資料が Web 上で配付されることもある。

授業科目は大きく分けて 2 つある！

全学共通科目

いわゆる一般教養科目のことで、般教と略されることもあります。主に 1・2 回生のうちに履修します。授業内容によって 8 つの群（→p. 6）に分けられており、文系理系を問わず幅広い分野について学ぶことができます。ただし、クラス指定科目や卒業単位に認められない科目もあるため、履修登録の際には注意が必要です。

専門科目

正式には学部科目と呼ばれ、各学部・学科の専門的な内容を学びます。専門的な知識を深く学ぶため、回生が上がるほど時間割に占める割合は高く、実践的になっていきます。自らの進路に直結する知識を得るための大切な科目であり、進学や卒業に大きな影響を与えるので、意欲的に取り組みましょう。

これが京大の授業形式だ！

講義

教員が教壇で担当科目についての解説を行いそれを聴講する、という大学の授業で最も一般的な授業形式です。高校までの授業に最も近い形式であるものの、教科書が必要ない講義や毎回違う教員が説明を行う講義など多様で相違点も多く存在します。講義を行う教授が有名な TV 番組で見たことがある人だった……なんてことがあるのも京都大学ならではのことです。

ゼミ

教員と少人数の学生で、あらかじめ調べてきたことを発表し合ったり、施設見学をして最新の研究にふれることができる授業です。少人数で行うため、質疑応答や意見交換がしやすく、積極的に参加すれば親密な人間関係の中で学びを深めることができます。学部・学科にかかわらず「ILAS セミナー」というゼミ形式の授業に申し込みができるのでぜひ参加しましょう。

集中講義

長期休暇や土日祝日など、通常の授業時間以外で開講されます。履修には予備登録が必要な場合もあります。

実験

主に理系の学生が受講し、高校までとは一味違った専門的な実験を行います。実験内容は高度にもかかわらず教員の誘導はほとんどないため、実験内容の予習は必須です。また実験によっては担当教員の他に「TA (Teaching Assistant)」と呼ばれる院生がおり、実験器具の扱いなどに困ったときなどに助けてもらえます。実験後に、各自でレポートを書いて提出します。

実習

フィールドワークなどの実際の活動を通して、課題に対してより実践的な形式で取り組むための能力を磨きます。

京大周辺ガイドブック

『京大周辺ガイドブック 2020』では、京大生として生活を送る上で必要となりやすい情報のうち、大学外の情報にフォーカスした冊子です。実際に京大周辺で生活している京大生の視点から、京大周辺の飲食店情報・量販店の情報はもちろん、休日などの時間がある際に是非訪れてほしいおすすめスポットの紹介の他、京都の交通機関に関する説明やファッションに至るまで生活に不可欠な情報など、幅広いコンテンツを提供しています。合格後に郵送される「やったね！」袋に入っているの、ぜひ読んでみてください。

こんな人に見てほしい！

大学入学を機に京都で一人暮らしする、でも新しい生活の中心となる街に生活に必要な店があるのか心配、そんな方は下宿前や下宿を始めたばかりの時期に読んでいただくことでその不安を払拭していただけたと思います。また、下宿をしない方でも暇になった時に見ていただくことで充実した大学生活をつくる助けとなるでしょう。



サークル大百科

『サークル大百科』は、京都大学の部活動やサークルをまとめて紹介した冊子です。その掲載団体数はなんと 361 団体！各団体の活動内容などの紹介だけでなく、京大生が集まってサークルについて話した「サークル座談会」や自宅生のサークルとの関わり方について書かれた「自宅生とサークル」という特集記事もあります。また、掲載されている団体の新歓期におけるイベントをまとめた「新歓イベントカレンダー」も付いています。「やったね！」袋に入っているの、ぜひ活用ください。

こんな人に見てほしい！

どんなサークルに入ろうか悩んでいる方やそもそもサークルのイメージがわからないという方にぜひ読んでいただきたいです。索引はジャンルごとに分かれており、活動曜日や京大生のみかどうかが一目でわかるようになっています。ここでサークルを比較してみてもいいでしょう。また、特集記事を読めばきっとサークルのイメージがわいてくると思いますよ。



らいふすてーじ 新入生歓迎特別号

『らいふすてーじ新入生歓迎特別号 2020』は、4月から京都大学で生活をする新入生をサポートするために、京大生が心をこめて作った冊子です。授業関係の記事や、座談会といった京大生の声をもとにした記事、その他京大生のユーモアを詰め込んだ娯楽記事を多数設けています。「やったね！」袋に入っているの、ぜひ一度読んでみてください。



こんな人に見てほしい！

京都での新しい大学生活に不安を抱えている人も多いのではないのでしょうか。そんなときは、本冊子を読んでください。学業面から生活面に至るまで様々な役立つ情報を得られると思います。本冊子を通してきっと京大での生活を想像できるはずですよ。読み終えたときに不安は自信に変わっていることでしょう。

やったね速報 2020



▲イメージキャラクター
オセロン先輩



▲こちらから今すぐアクセス

『やったね速報』とは、「京都大学生協新入生サポート Web」内にある、新入生のみなさんの新しく始まる大学生活への疑問や不安を解決するコーナーです。「キャンパスライフ」「生活」「勉強」の3つに関連したテーマについて、個性豊かなキャラクターたちが紹介します。左下の二次元コードから今すぐアクセス！

(<https://www.start-kyodai.com>)

こんな人に見てほしい！

「大学生活に自転車は必要？」「ILAS セミナー」って何？」「サークルやバイトってどんな感じ？」などなどの疑問や不安を抱えた新入生のみなさんに見ていただきたいです。『やったね速報』は Web 上での掲載なので、スマホ・パソコンで、いつでも、どこでも気軽に読めます。『やったね速報』を読んで大学生活へのスタートダッシュを切ろう！

MEMO

MEMO